

# 丸善雄松堂

## コンテンツ・サービスのご紹介

第22回図書館総合展において丸善雄松堂が実施したオンラインイベントや展示などについて、重要なポイントを抜粋し、それらのポイントに関連する弊社のコンテンツやサービスを集約しました。

当資料に関するご相談は、弊社営業担当者までお気軽にお問い合わせください。

### 目次

- [1] 参加型イベント「未来の学習者に寄り添うウィズコロナ時代の図書館」 P.1
- [2] 館種別ワークショップ「学習者の視点から考える10年後の図書館」 P.5
- [3] オンライン展示 P.6
- [4] 無料Webアプリ『BOOK GACHA』 P.7
- [5] 「未来のまなび」アンケート P.8
- [6] 参考資料 P.9



# 1

## 参加型イベント「未来の学習者に寄り添う、ウィズコロナ時代の図書館」

### ～ラーナー・セントリックな視点から向き合う大学および公共図書館の可能性～

新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、生活様式を変えて感染症と共存していくウィズコロナの時代、図書館のサービスにも変革が求められています。このイベントでは、「ウィズコロナ」が常態化した未来に暮らす学習者の視点から、「学習者は必ず特定の地域に暮らすローカルな存在である」ことを前提に、図書館が館種を超えて連携することで可能になる学習環境について議論を深めました。

#### [1-1] ウィズコロナから考える未来の学び

##### — コロナ禍での新しい学びの取り組み —

村松 浩幸 氏（信州大学 学術研究院教育学系教授、信州大学 教育学部附属次世代型学び研究開発センター長 他）

情報時代の到来とともに始まった学びの変容がコロナ禍の影響によって一気に加速した今、「創造的な学び＝クリエイティブ・ラーニング」が一つの具体的な解としてあるのではないか。学びが「智」を生み出す活動になったとき、図書館はいかに学習者を支援できるか。教育工学の理論とコロナ禍における教育実践の見地から、未来の学びのあり方について重要な示唆をいただきました。

#### [1-2] 未来の学習者に寄り添う

##### ウィズコロナ時代の図書館を考える

##### — 信州大学附属図書館の取り組み —

渡邊 匡一 氏（信州大学 副学長（学術情報担当）、信州大学 附属図書館長、信州大学 大学史資料センター長）

信州大学附属図書館におけるコロナ禍への対応から、今後再び「緊急事態」が起きても教育や研究がストップしない体制づくりまで、幅広い話題に触れていただきました。東日本大震災後も遅々として進まなかったデジタル化あるいは知識や情報の大衆化など、大学図書館として乗り越えるべき課題は少なくないが、コロナ禍が変革の好機になるだろうとの前向きなお話をいただきました。

#### [1-3] 未来の学習者に寄り添う

##### ウィズコロナ時代の図書館を考える

##### — 県立長野図書館の取り組み —

森 いづみ 氏  
（県立長野図書館長）

人生100年時代の到来によって働き方や学び方が複線型化・多段階化するなかで、公共図書館はいかに学習者を支援すべきかについて、お話をいただきました。図書館機能をデジタル化し、平等な情報アクセス基盤の整備と情報リテラシーを身につけられる仕組みの構築を目指す「長野県eLibrary構想」をはじめ、コンテンツだけでなく、場のデジタル化にも取り組まれています。

▼ このイベントの動画やパネリストの資料を公開しています。ぜひご覧ください。

- ① 当日動画視聴 <https://youtu.be/cEhrzkf0jic>
- ② 動画視聴ガイド <https://bit.ly/2KnfWgK>
- ③ パネリスト資料 <https://bit.ly/3pIIOBb>

① 当日動画視聴



② 動画視聴ガイド



③ パネリスト資料



当資料P.2-4では、各講師のお話より重要ポイント(左:「Key Moments — 重要ポイント —」)を抜粋し、それらに関連する丸善雄松堂のコンテンツやサービス(右:「What we can do to help — 提供可能なご支援 —」)をご紹介します。コンテンツやサービスに関するご相談は、弊社営業担当者までお気軽にお問い合わせください。

### Key Moments — 重要ポイント —

#### ■ 情報時代の学びの変容

- コロナ禍以前から学びは変容を始めていた
  - ▶ 単一性から多様性へ
  - ▶ 中央管理から説明責任を伴った自律性へ
  - ▶ 従順さから主体性へ
- コロナ禍で一層変容のスピードが加速した
- 「創造的な学び＝クリエイティブ・ラーニング」はこうした学びの変容に対する一つの考え方として捉えている
- 創造的な学びを推進する場としてファブラボを学内に設置
- 県立長野図書館とも「創造的な学びのプロセスを整えるための共通プラットフォーム」を整備すべく連携

#### ■ 学習者主体の学びへの変革

- 学習の責任が教師から子どもに移行する(初等中等だけでなく高等教育でも)
- 仲間と取り組む創造的な学びは、必然的に「主体的、対話的、深い学び」になる
- 「Learn→Make→Share」:Makeでつくるものは「モノ」だけでなく「智」も含まれる
- これからの図書館は「智」を生み出す(活動を支援する)場所になれるのか？

### What we can do to help — 提供可能なご支援 —

#### ▼ クリエイティブ・ラーニング支援

図書館やキャンパス内に「創造的な学び＝クリエイティブ・ラーニング」を促進し、プロトタイピングや課題解決力などの21世紀型スキルを分野横断的に身につけることができる学習環境を整備。空間や機器だけでなく、ファシリテーターを配置することで学生の知的創造活動を支援します。(P.10参照)

#### ▼ 学習支援ソリューション

丸善雄松堂では、レポートライティングやプレゼンテーション、プロジェクト活動など、フィードバックを重視したアクティブな「まなび」をプロデュース。リアルとバーチャルを掛け合わせた学習支援ソリューションの提供を通して、コロナ禍がもたらした物理的、時間的制約を超えた図書館の価値の再構築を目指します。(P.11-13参照)



### Key Moments — 重要ポイント —

#### ■ コロナ禍による図書館利用制限下での対応

- 利用者・職員の安全の確保: ソーシャルディスタンスの確保、消毒作業など
- 利用者に資料を届けるための工夫: 限定窓口での対応、郵送による資料の貸出など
- 電子情報の活用: 電子ジャーナルの利用可能範囲拡大、電子ブックの導入強化、ウェブ上での情報提供など

#### ■ 「緊急事態」でも教育や研究がストップしない体制づくり

未来(Society 5.0)を見据え、来館せずに利用できる情報・サービスを拡充する

##### 《学内の取り組み》

- デジタル化されたものを優先して推薦図書にするよう学部に依頼
- 図書購入費のうちデジタル書籍購入費目を設定
- 信州大学のオープンアクセスポリシー策定を目指す
- 研究者と図書館がさらに連携し、学会出版社とともにあらゆる学問分野でのオープンアクセスを進めていく

##### 《信州内の取り組み》

- ICT環境を最大限に活用して、社会人のセカンドキャリア、サードキャリアに対応するなど、生涯にわたる学びに対応できる環境を整える
- 大学内にとどまらず、自治体や企業との連携により「地域全体キャンパス」を実現

### What we can do to help — 提供可能なご支援 —

#### ▼ Maruzen eBook Library

渡邊先生のお話のなかでも言及された、学術書籍を中心に約80,000点以上の電子書籍を提供する、日本最大の学術・研究機関向け配信サービス。充実した検索・閲覧機能のほか、新たに読上機能や動画配信機能、リクエスト機能などを追加することで、学習効率の向上に寄与します。

➡ 詳細 <https://bit.ly/2Kh5GGC>

#### ▼ Maruzen eText Service

授業・学習用コンテンツの調達から配信まで、お客様のニーズに合わせて提供するクラウド型の電子教科書サービス。緊急事態下においても学習に必要な教材を提供し続けることを可能にします。

➡ 詳細 <https://bit.ly/2HgvW2K>

#### ▼ アーカイブ総合支援

大学が所蔵する歴史・貴重資料、活動記録をはじめとする「情報資産」を整理し、公開することで、研究者や学生がいつでもどこでもこうした資料にアクセスできる環境を実現します。

➡ 詳細 <https://bit.ly/2IUGo0e>

#### ▼ 図書館運営支援

コロナ禍のなか、全国250館以上の大学・公共図書館の運営サポートを通して培った知見やノウハウを活かして、次なる緊急事態に備えた図書館運営を心がけます。

➡ 詳細 <https://bit.ly/3kRIivT>



### Key Moments — 重要ポイント —

#### ■ 学習者中心の図書館の在り方

- ・ 図書館は一人ひとりのライフステージで情報リテラシーを身につけられる場
- ・ 若者のキャリアデザインへの支援、よりよく働くための学び直し(リカレント教育)の機会の充実など、図書館として「複線型、多段階の働き、学び」を支援したい
- ・ 学習者の一生で考えると、学校、大学、公共など館種を超えた連携プレイが必要となる

#### ■ 長野県eLibrary構想

##### 図書館機能のデジタル化

- ・ 電子ブック導入・活用・普及
- ・ 信州ナレッジスクエアを活用した地域アーカイブ活動推進など

##### 学びのネットワーク化

- ・ 信州・学び創造ラボを通じたコミュニティ活性化
- ・ 図書館が整備した情報を活用してもらうための情報リテラシープログラムの開発・展開

##### 《事例》

- ・ 地域の林業を担うリーダーを育てる「林業士入門講座」を県林業総合センター指導部と連携して開催
- ・ 林業士が地域社会で活動する際に必要な「情報を扱う知識とスキル」を身につけ、活動に活かしてもらう
- ・ 「現場の知」と「図書館に集う人々の知」を図書館がハブになってつなぐ

### What we can do to help — 提供可能なご支援 —

#### ▼ マナパス ～ 社会人の大学等での学びを応援するサイト ～

大学等におけるリカレント講座情報や支援情報を発信する社会人向けの学びのポータルサイト『マナパス』では、社会人大学・大学院の公開講座、職業実践力育成プログラムなど、社会人の学び直しに役立つ講座情報を横断検索できます。学習者の選択肢を増やし、学びたいときに必要な情報が手に入る、学習者中心の環境構築に寄与します。➡ 詳細 <https://manapass.jp>

#### ▼ セカンドアカデミーによる公開講座支援

研究・教育が「大衆化」する昨今、大学や図書館が持つ情報・知的資源をいかに地域や社会に開いていくかが課題になります。月間30万ページビューを誇るポータルサイトと講座管理システムで教育機関の公開講座の開講・運営を支援します。➡ 詳細 <http://second-academy.com/>

#### ▼ 知とまなびのイベント

まなびの入り口として、学ぶ人たちのすそ野を広げる「知とまなびのイベント」では、“好き”“興味”“関心”“好奇心”などを喚起するさまざまなイベントを通じて、まなびの世界が楽しくなるひとときを提供します。(P.14参照)

#### ▼ 知のワーキング

丸善雄松堂が150年の歴史の中で培ってきた「大学ネットワーク」「地域に根差した図書館・店づくり」における創造・運営の知見を活用。大学と企業、行政、市民をつなぎ、持続的・継続的な知のワーキング活動を通じて、地域課題解決を目指すプログラムです。



# 2 館種別ワークショップ「学習者の視点から考える10年後の図書館」 — 公共・学校・大学図書館編 同時開催！ — With ポプラ社

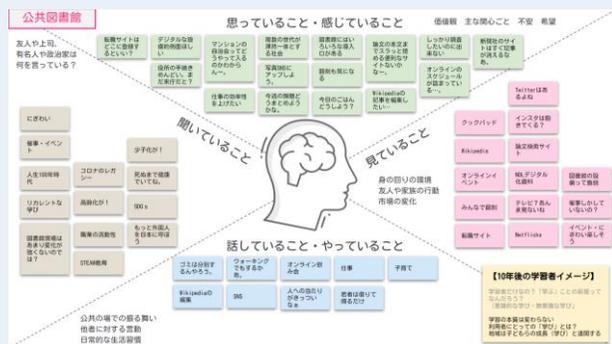
図書館総合展コア日で得たさまざまな情報(Input)を、ほかの参加者とともに発散・整理(Output)するオンラインワークショップ。このワークショップでは、学習者が生涯を通じて図書館をいかに「体験」するかという学習者中心の観点から、今後の図書館が担うべき社会的役割や提供すべき機能について、「公共図書館」「学校図書館」「大学図書館」の3つグループに分かれてバックカスティングの手法で議論しました。

## ■ 未来の図書館や図書館サービスについて、「学習者中心(ラーナー・セントリック)」の観点から考察

### 《ワーク1》

#### 『10年後の学習者について考えよう』

「共感マップ」をフレームワークとして活用。10年後の学習者の視点に立ち、学びについて「思っていること・感じていること」「見ていること」「話していること・やっていること」「聞いていること」の4つの項目から、彼ら(彼女ら)が何を考え、どのようなニーズを抱えているかを探ることを通して、学習者像の解像度を高めました。



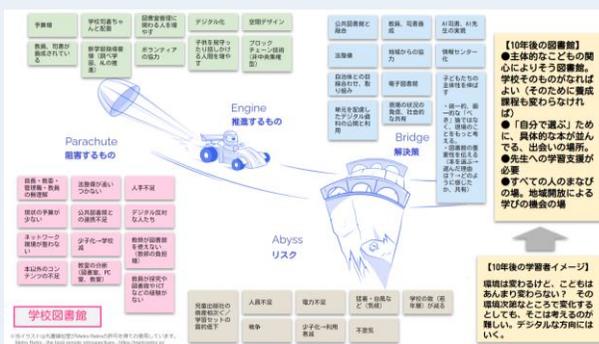
[当日のアウトプット例]

### 《ワーク2》

#### 『10年後の学習者を支える図書館について考えよう』

「The Speed Car and the Abyss」をフレームワークとして活用。ワーク1で浮かび上がった10年後の学習者像を踏まえ、①その学びを支える10年後の図書館のあり方や機能をイメージしたうえで、②その実現に向けて、図書館の活動を「促進するもの」「阻害するもの」「今後のリスク」「解決策」を考えました。

※ワークは全部で2つ



## ■ 参加者の皆さんの声 ※一部紹介

- 学習者の視点を強く意識すること、未来の学びのあり方から図書館を考えることが今までよりできるようになった。
- 図書館員はサービス提供者目線になりがちであるため、利用者視点に頑張つてなってみる、というのは新鮮だった。
- 率直な話し合いができとても面白かった。住んでいる地域や、学校毎に様子はさまざまで、話してみてもわかることがたくさんあると感じた。
- 他の館種のワークの内容から、「学習者」が来るのが普通の学校図書館との違いを感じられた。
- 館種を越えた議論もしたい。次回に期待。ほか

▼ 当日のアウトプットを公開しています。ぜひご覧ください。

▶ <https://bit.ly/3fliLu6>



# 3 オンライン展示

丸善雄松堂の特設サイト上で実施したオンライン展示では、年齢や性別、国籍などの異なる多様な学習者のまなびに関するお悩みを「#キーワード」の形で表示。それらを解消し、人びとのまなびを支援する、弊社のコンテンツやサービス、共創の取り組み事例をご紹介します。

## ■ 学習者視点でのお悩み「#キーワード」

「#情報アクセス」「#学習者本位のまなび」「#ウイズコロナ」「#生涯学習」など、まなびに関する学習者視点でのお悩みを「#キーワード」の形に落とし込み、関連する弊社のコンテンツやサービス、共創の取り組み事例の全てに表示しました。

## ■ 紹介コンテンツ・サービス・事例一覧

### 《コンテンツ・サービス》

- ① Maruzen eBook Library
- ② Maruzen eText Service
- ③ アーカイブ総合支援
- ④ 新しい場づくり～図書館・文化施設の運営支援
- ⑤ 学習支援ソリューション
- ⑥ クリエイティブ・ラーニング支援
- ⑦ マナパス ～ 社会人の大学等での学びを応援するサイト ～
- ⑧ セカンドアカデミーによる公開講座支援
- ⑨ 海外図書館フィールドワーク型研修

### 《共創の取り組み事例》 ※一部

- ・ 「近大INDEX」を採用した新発想の図書館、ビブリオシアターの運営支援
- ・ 人と知との出会いをつなぎ、人びとがまなびでつながる、新業態のコミュニティラウンジ「Creadisce (クレアディスク)」ほか

## 学習者の皆さんのお悩み… ※お悩みは一例です



課題レポートの参考文献に使う本って何が良いのかな？  
書き方も良く分からないな…

#図書館運営  
#まなびの場の運営  
#学習支援



新しいことを学びたい！  
でも、どうやって調べたら良いんだろう。

#情報アクセス  
#生涯学習  
#まなび直し



コロナ禍でも安心して、質の高い学習がしたいな。

#ウイズコロナ  
#学習促進  
#情報アクセス



地域の資料や情報に気軽にアクセスできないかなあ。

#情報アクセス  
#地域  
#コミュニティ



学校だけでなく、地域の人たちと交流したり一緒に学ばせてあげたいわ。

#地域  
#学習者本位のまなび  
#コミュニティ



キャリアアップに必要な知識やノウハウを学べる場所ってどこにあるんだろう？

#リカレント教育  
#生涯学習  
#実践的な知識

## ▼ オンライン展示をぜひご覧ください。

- 特設サイト「オンライン展示」 <https://bit.ly/3oR2a5U>
- ・ コンテンツ・サービスに関するご相談は、弊社営業担当者までお気軽にお問い合わせください



# 4 無料Webアプリ『BOOK GACHA』(ブックガチャ)

『BOOK GACHA』は、近年、社会的関心が急速に高まり、大学や企業においても取り組みが広がるSDGs(=持続可能な開発目標)をテーマに、丸善雄松堂がセレクトする300冊以上の本をランダムに紹介するWebアプリです。当アプリを通して、ガチャガチャのようにワクワクする本との新たな出会いを体験していただきました。

## ■ 300冊以上のSDGs関連本からオススの1冊を紹介

Google Glideを活用したこのアプリは、(株)ライカーズアカデミアが開発する教育ITツール「SchooMy」の協力を得て制作。「本の丸善」にはじまる丸善雄松堂がセレクトする300冊以上のSDGsに関わる本の中から、オススの1冊を紹介する本のガチャガチャで、ワクワクする本との新しい出会いを演出。

## ■ 書籍リストと掲示用ポスターの公開

「書籍を取り揃えたい」「自館で展示したい」などの声を多数いただき、『BOOK GACHA』で紹介する全書籍のリストと、自館・組織内で印刷して掲示可能なポスターを弊社特設サイト上で公開。

➡ 特設サイト『BOOK GACHA』 <https://bit.ly/3k3jYaV>

## ■ 皆さんからいただいた声 ※一部紹介

- ・ 所蔵しているSDGs本を集めてさっそく自館で展示した
- ・ 入り口は遊びで、中身はしっかりとした本紹介なのが良い
- ・ 読書ばなれが起きているなか、ゲーム感覚で読書と学生をつなげられる機会になるのではないかと
- ・ 調べ学習用資料などを紹介するGACHAがあれば、資料探しに悩む生徒の一助になるのではないかと
- ・ 自館・自学におけるSDGsの取り組みのヒントにしたい
- ・ 紹介されている書籍がほとんど自館にないので、購入したい

QRコードをスキャンして『BOOK GACHA』をお試しください



## ▼ 弊社営業担当者までお気軽にお問い合わせください。

- ・ 『BOOK GACHA』紹介書籍のご注文
- ・ 自館・自組織での展示や、授業・セミナー・イベントなどでの活用
- ・ 『BOOK GACHA』を入り口にした読書の促進や、自館・自組織の取り組み発信に向けた展開のご相談 ほか

# 5 「未来のまなび」アンケート

「未来のまなび」アンケートは、未来のまなびや図書館を『学習者視点』で捉えるためのWebアンケートです。今回、丸善雄松堂が開催した2つのオンラインイベントの事前ワークとして実施するほか、図書館総合展の参加者に限らず広く回答を募り、全国から230以上の回答が集まりました。回答状況はリアルタイムに可視化(データビジュアライゼーション)し、弊社特設サイト上で公開しています。

## ■ 未来の社会やまなびを想像し、学習者の視点から回答

今回、Webアンケートとともに、「3Dプリンターで義足をつくるパラリンピアン」「美術作品のARガイド」「ウィズコロナ時代の新たなサードプレイス」をはじめ、未来のまなびに関わる国内外の動向を探る解説資料を公開。回答者がアンケートの回答に進む前に目を通すことで、イメージの具体化や柔軟な発想を促すことを企図しました。

## ■ 回答状況をリアルタイムに可視化(データビジュアライゼーション)

「リアルとオンラインのまなびの関係性はこれからどうなると思いますか?」「ウィズコロナの時代の図書館が特に注力すべきことはなんでしょうか?」など、全16の設問からなるアンケートの回答内容は、Googleデータポータルを活用してリアルタイムに可視化し、特設サイト上で公開。

※個人情報の収集なし。自由記述は回答内容によっては公開なし。

▼ 解説、回答状況をぜひご覧ください。

→ 特設サイト「未来のまなび」アンケート

<https://bit.ly/336HXzx>



## ■ 弊社イベント事務局による、回答状況を踏まえてのコメント ※一部紹介

### 《要点》

- 空間の制約からの解放により今まで以上に「時間」が増えたと答える人が多数
- 「電子資料での情報提供」と「安全な施設運営」が最も必要とされている点にコロナ禍の影響がうかがえる
- 一方で、「利用者の知識創造」「情報発信の支援」や「課題解決の機会の提供」も必要とされている点は特筆すべき

### 《気づき》

- 「積極的に利用する」「ときどき利用する」が大半を占め、電子書籍を読む土壌がある程度できていることがうかがえる

### 《疑問・問い》

- 分野は問わず、「生涯を通じての学び」を求めている?
- 「三密の回避」「まなびのオンライン化・バーチャル化」で失うものはなにか?



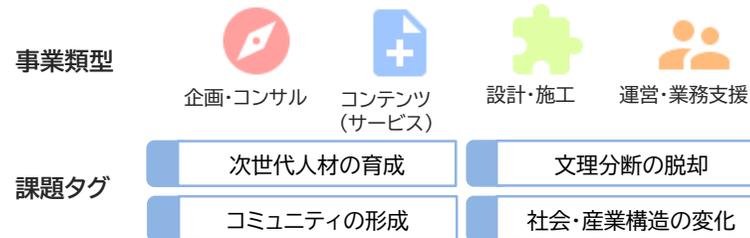
# 6 参考資料

- [6-1] クリエイティブ・ラーニング支援 P.10
- [6-2] アカデミックライティング教育 P.11
- [6-3] オンライン学習支援サービス P.12
- [6-4] オンライン学習支援サービス P.13
- [6-5] “知”と“まなび”のイベント P.14



# 6-1 クリエイティブ・ラーニング支援

文理融合型の次世代学習空間のデザインから運営まで



## 概要

モノ・コトづくりを通して、トライアル&エラーを繰り返し、アウトプットをブラッシュアップするなかで知識を構成する「クリエイティブラーニング＝創造的な学び」を促進する学習空間を総合的にバックアップします

## 特長

### 1 利用者コミュニティのニーズに合った学習環境の構築

空間デザイン、納入機器、運用方法など幅広く支援内容をカスタマイズ。

### 2 利用者の創造的な学びを促進する専門スタッフの配備

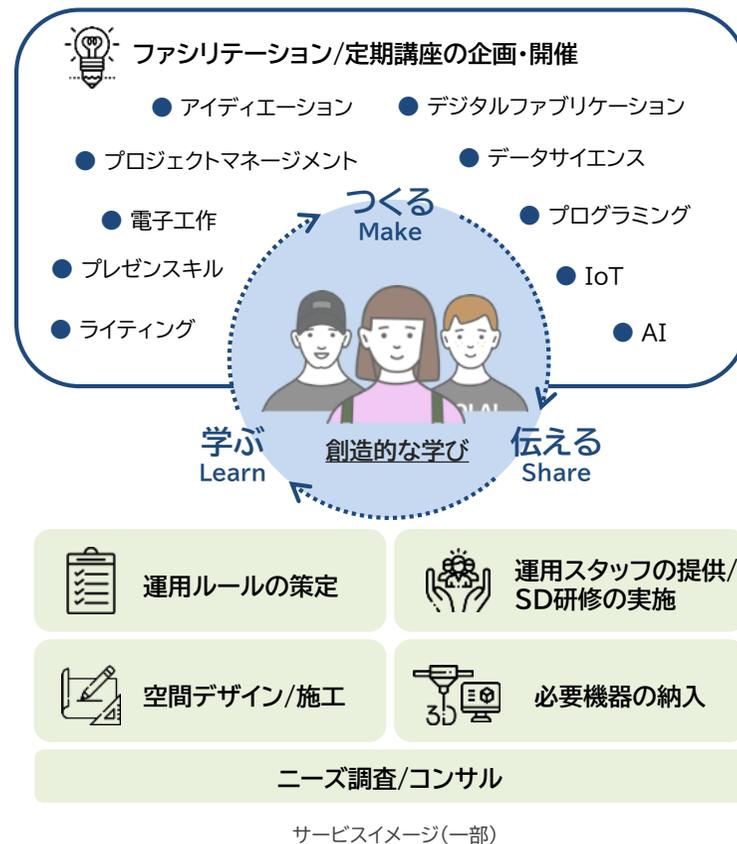
デジタル機器の使い方に留まらないファシリテーションや講座を実施。

### 3 地域の“イノベーションラボ”としての組み立ても可能

地域の人材資源を最大化するネットワークハブとしての機能を支援。

## Point

プロトタイピングやデザイン思考などの21世紀型スキル、分野横断的に個人・組織を集め、試行錯誤を繰り返す態度などのソフトスキルを身につけるための学習を支援します。



# 6-2 アカデミックライティング教育

高等教育における授業の運営支援



## 概要

初年次向けの正課授業プログラム「アカデミックライティング教育」の運営を受託。大学との産学共同プロジェクトとして、授業の設計・実施をプロデュース、学生が気づきを得ることができる主体的な学びを実現

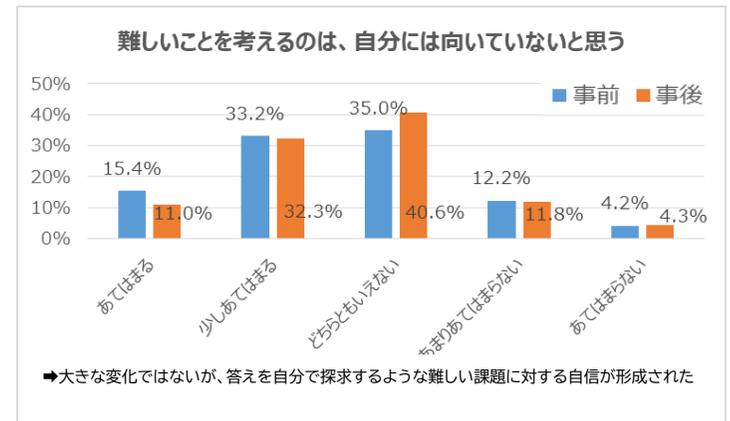
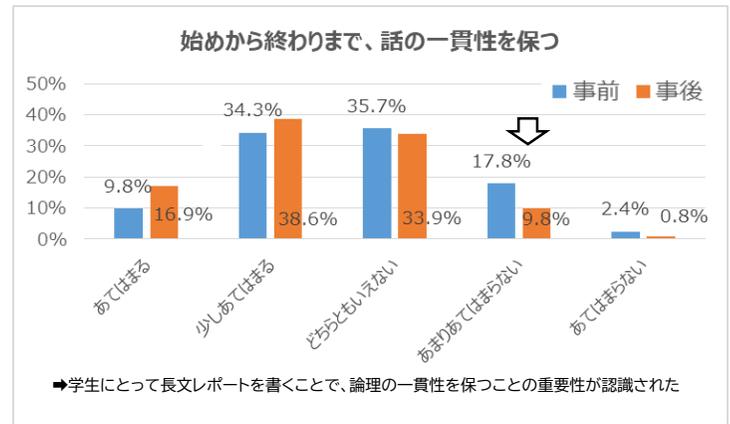
## 特長

- 1 チームティーチングでの授業運営**  
講師、TA、SAが連携して、学生一人ひとりのつまづきをサポートします
- 2 フィードバックを重視したアクティブな学び**  
成功例も失敗例も重要な実践知、全体で共有、フィードバックをします
- 3 ワーク中心の主体的な学び**  
個人またはグループでの作業が中心となるため、主体的な学びを求めます

## Point

高等教育機関の抱える課題に対応した多様な学習支援を提供し、学生が普遍的なリテラシーを習得して社会で活躍することを支援します。

授業前後アンケート集計結果(学習態度に関する項目)



授業前後アンケート資料より一部抜粋

# 6-3 オンライン学習支援サービス

学生が気づきを得ることができる主体的な学びをサポート

事業類型



企画・コンサル



コンテンツ  
(サービス)



運営・業務支援

課題タグ

学修機会の確保

学修者本位

社会で求められる力

多様化

概要

レポートライティングやプレゼンテーション、プロジェクト活動を中心とした高等教育において必要な学生の学びを支援します。修士程度の学位を有する学習アドバイザーが学習支援(学習相談と講座)をオンラインで行います

特長

## 1 学生ひとり一人の学びをサポート

一方的な添削ではなく、対話を通して、学生自らの気づきを促していきます

## 2 学習支援活動の構築をサポート

学生、教職員と有機的な関わりを持ちながら活発な学習支援活動を構築します

## 3 高等教育機関の積極的な教育研究の取組みをサポート

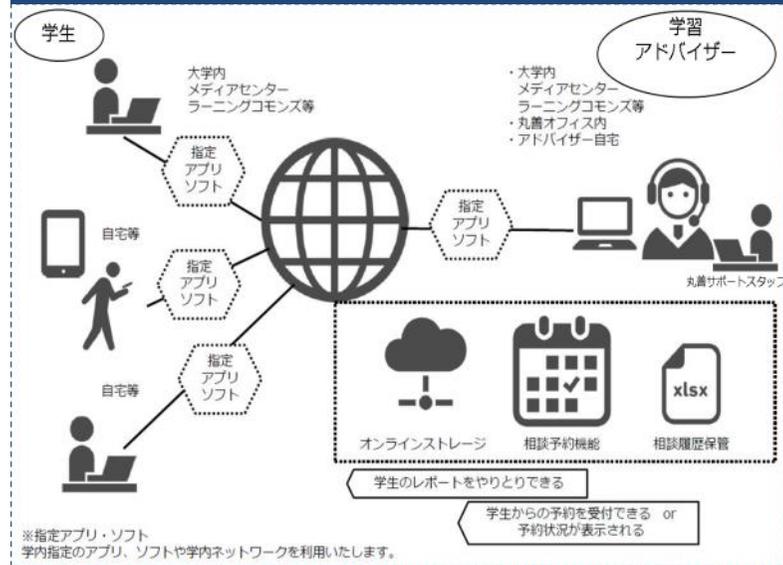
高等教育機関のそれぞれの課題に対応した多様な学習支援を提供します

Point

多くの大学でオンライン授業がスタートし、教員はレポート提出を課すことが多くなる一方で、レポートの書き方を知らない学生が多くなることが予想されます。

オンライン学習支援サービスの充実により、学生の学びをサポートいたします。

### オンライン学習支援サービスのイメージ



### オンライン学習支援サービスの主な内容

オンライン  
講座

・学習相談スタッフが、不特定多数の学生に対して、「レポートの書き方」等の講座をオンラインで行います。スマホユーザーの学生でもストレスにならないようにプログラムを設計。

オンライン  
学習相談

・スタッフが、利用申請のあった特定の学生に対して、オンラインで学習相談を行います。

# 6-4 学習支援組織サポートプログラム

学生が気づきを得ることができる主体的な学びをサポート

事業類型



企画・コンサル



コンテンツ  
(サービス)



運営・業務支援

課題タグ

学習支援組織構築

学習支援者スキル育成

オリジナルプログラム作成

自主運営サポート

概要

学習支援活動が持続的に発展するための学習支援者(TA)の育成、スキルの向上、組織構築の支援を行います。大学の課題、ニーズに合わせて、最も適なプログラムを提供します。学習支援者(TA)が自主的に運営できるような組織の形成を目指し、支援します。

特長

## 1 学習支援者の学習相談スキルを育成

専門講師によるスキルアップ研修会を行います。学習支援者(TA)として必要な基本スキル研修を用意しています。

## 2 自主的に企画、運営できるような活動支援

学習支援者メンバーの間で自主的な学習支援活動・プログラム企画の立案などをアドバイスします。活動の企画から実行までの支援を行います。

## 3 それぞれの課題に対してのオリジナルプログラム

高等教育機関のそれぞれの課題に沿って、オリジナルの学習支援コンテンツの制作、リソースを提供します

Point

教育と同様に、学習支援の取り組みに、同じものはないと考えております。貴学にあった学習支援を、関係者の皆様と議論しながらご提案いたします。

年間プログラムイメージ

3~4月  
課題共有ワーク  
ショップ

5~6月  
相談業務フローの  
定型化

7~8月  
相談事例の分析  
研修①

8~9月  
卒論対応研修

10~11月  
相談事例の分析研  
修②

12月~3月  
引継ぎ内容ワーク  
ショップ

コンテンツ作成支援

学習相談スキル育成



自主運営サポート

組織構築強化

# 6-5 “知”と“まなび”のイベント

まなびの入り口として、まなぶ人たちのすそ野を広げる

事業類型



企画・コンサル



コンテンツ  
(サービス)



設計・施工



運営・業務支援

課題タグ

モノ消費からコト消費

場のブランディング

身近に潜む知の表出化

コミュニティの形成

## 概要

これまで“知”らなかったことに、出会うこと。  
その出会いを通じて、もっと“まなび”たい、と思うこと。  
「好き」「興味」「関心」「好奇心」などを喚起する様々なイベント  
を通じて、まなびの世界が楽しくなるひとときを提供します

## 特長

### 1 ジャンルを問わない気軽な”まなび”

どなたでも参加できるように、多様なコンテンツと形式で実施します

### 2 “まなび”を広げるブックセッション

イベントテーマに合わせた丸善雄松堂オリジナルの選書でこれまでに経験  
したことのない本との出会いを演出します

### 3 まなび合いによるコミュニティづくり

イベントに集う参加者同士、また参加者が次の登壇者になるなど、“まなび”  
によるつながりを広げ、新たなコミュニティを創造します

## Point

“まなび”は私たちの身近にあります。学校や図書館だけにある特別なものではありません。  
参加者同士で「興味」「好き」をまなび合い、また新たなまなびを生むコミュニティ創りを支  
援します。



DNPプラザイベントの様子

## Community of Learners



**M MARUZEN-YUSHODO**

<https://yushodo.maruzen.co.jp>

